

TAJIMA

受光器対応タイプ  
レーザー墨出し器

GT2eXi

MODEL:JL-GT2EXI

GT2bXi

MODEL:JL-GT2BXI



※写真はGT2eXi

取扱説明書

- タジマレーザー専用受光器をご使用いただけます。  
※本機には追尾、リモコン機能は付いておりません。

■当製品は精密電子部品を使用しています。

外部からの強い衝撃により精度不良となるおそれがあります。お取扱いおよび保管には十分に注意してください。尚、お客様が本説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、当社はその責を負いません。ご了承ください。

■修理についてのお問い合わせは・・・

タジマメンテナンスセンター

**0120-470282**

フリーFAX.0120-243324



〈受付時間〉月曜日～金曜日(祝日を除く) 8:40～18:00

■製品についてのお問い合わせは・・・

レーザー相談デスク

**0120-933297**

〈受付時間〉月曜日～金曜日 9:00～19:00

土・日・祝日 9:00～18:00



株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3 **0120-933297**

ホームページ <http://www.tajimatool.co.jp>

このたびはタジマレーザーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願いいたします。

取扱い方法などのお問い合わせは、レーザー相談デスクへ<0120-933297>。

お読みになった後は、後日必要になることがありますので、必ず保管してください。

## ■ 本機を正しく使うためのご注意

安全にお使いいただくための重要な内容です。全てをよくお読みの上、指示に従い正しく使用してください。

### 表示の説明

#### ⚠ 警告

誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。

#### ⚠ 注意

誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

絵表示について

してはいけないことを示す「禁止」表示です。

必ず実行していただくことを示す「強制」表示です。

### 安全上のご注意

本機はレーザー光を射出します。レーザー安全基準(JIS C 6802:2005)のクラス1Mに準拠していますが、以下に記載する内容には十分に注意してご使用ください。

禁 止 ■光学器具で直接レーザー光を見ないでください  
望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。

#### ⚠ 警告

■レーザー光を直接のぞかないでください  
■レーザー光路は眼の高さを避けてください  
■レーザー光路に立ち入らないようにしてください  
■レーザー光路に反射物を置かないでください  
■レーザー光を他の人に向けないでください

■幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください  
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。  
障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

禁 止 ■絶対に分解や改造をしないでください  
本機を分解、改造すると故障、感電の原因となります。

#### ⚠ 注意

■使用しない場合は乾電池を取り出してください  
乾電池から液が漏れ出して、故障の原因となります。

禁 止 ■乾電池を火の中に入れたり、充電をして使用しないでください  
乾電池の液漏れ、発熱、破壊の原因となります。

#### ⚠ 強制

■使用者への安全教育について  
レーザー光の性質、危険性などについて、十分ご理解の上で使用ください。

### 目次

本機を正しく使うためのご注意	1
特徴・付属品	4
各部の名称	5
使用方法	6
精度の確認	8
精度の考え方	12
仕様	13
よくあるご質問	14
保証	14
故障かなと思ったら	15
故障した時は	15
メモ	16

## 使用上のご注意

### ■使用前使用後には、必ず精度確認をしてください

精度の確認方法通りに、使用前使用後に必ず精度確認を行ってください。  
故障した状態でのご使用は、誤測定の原因になります。  
詳しくは8~11ページの「精度の確認」をご覧ください。

### ■強いショックを与えないでください

本機を倒したり、落としたりしないでください。衝撃や振動が加わった場合には精度確認を行ってください。

### ■本体を移動する際は、スイッチをOFFにしてください

スイッチはOFFと同時に本体内部がロックされます。スイッチは途中で止めないで最後まで戻してください。

### ■運搬する場合は、専用のキャリングケースに入れてください

ケース収納時も衝撃や振動をあたえないでください。また、修理など荷物として送る場合は輸送用外函に入れてお送りください。

### ■故障したまま、本機をお使いにならないでください

すぐに使用を中止して、お求めの販売店または、タジマメンテナンスセンターに修理をご依頼ください。  
詳しくは15ページ「故障した時は」をご覧ください。

### ■濡れたままお使いにならないでください

本機は防塵・防水性能（IP54）となっています。ただし、雨中での使用や、出射窓の水分・汚れなどが精度不良の原因となります。必ず、水分・汚れを拭き取ってからご使用ください。

### ■本機は-5°C~40°Cの範囲でご使用ください

指定範囲外の温度で使用すると故障および精度不良の原因となる場合があります。

### ■結露したままお使いにならないでください

結露が確認されましたら、電源を入れずに結露が取れるまで放置してください。その後電源を入れれば正常に作動します。

何時間たっても作動しない場合は、タジマメンテナンスセンターにご相談ください。

### ■保管について

- 必ず専用のキャリングケースに入れて保管してください。
- キャリングケースの掛金・ベルトが傷んでいたら本体を収納しないでください。ケースや本体が落下してケガをする恐れがあります。

### ■本機や付属品の保管場所として、次のような場所には置かないでください

- 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ
- 冬場の屋外などの低温になるところ
- ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
- 急激な温度変化のあるところ
- 湿度の高いところ
- 磁気を帯びたところ
- 振動の多いところ

### ■お手入れについて

- ご使用後は機械の清掃をしてください。
- カバーガラスに水分や汚れが付着していると、ライン光が暗くなったり、精度不良が発生する場合があります。水分をよく拭き取り、レンズクリーナーなどで汚れをきれいに落としてください。
- 本体の汚れは、埃をよく払ってからやわらかい布で軽く拭いてください。シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
- 雨がかかったときは、水分をよく拭き取ってからキャリングケースに収納してください。

## 免責事項

- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害（事業の利益の損失・事業の中止など）に対して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

## 特徴・付属品

### 特 徴

- 単3形アルカリ乾電池2本でGT2eXiは連続13時間、GT2bXiは16時間使用できます。(フルライン使用・受光器ON時)
- 市販の単3形充電池もご使用頂けます。
- 本機は防塵・防水仕様となっていますので、屋外での作業にもご使用頂けます。
- 専用のエレベーター三脚に取り付け可能です。  
※本機をエレベーター三脚3000に取り付ける場合、三脚用アダプター(別売)が必要となります。
- タジマレーザー専用受光器が使用可能です。  
※本機には、追尾機能とリモコン機能はついておりません。

### 付属品

#### ●レーザーゴーグル

(品番: LA-GOGB)

明るい場所でレーザー光が  
見にくく時に、ご使用ください。



※目を保護するものではありません。

※暗い場所での使用には適しません。

#### ●単3形

アルカリ乾電池

<2本>



#### ●専用

キャリングケース



### アクセサリー(別売)

#### ●三脚用アダプター(品番: ELV-ADP)

「エレベーター三脚3000(別売)」に本機を取り付ける場合には必要となります。

また、「エレベーター三脚1500(別売)」等でご使用になられても、三脚の操作性がより向上します。

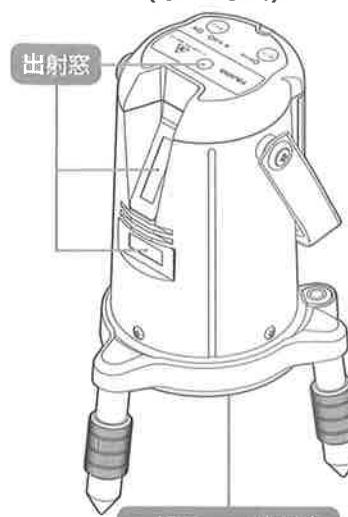


## 各部の名称

### GT2bXi



### GT2eXi



#### 受光器モード 切替スイッチ

#### ライン切替 スイッチ

#### 電池ボックス

#### 電源ロック スイッチ

#### 回転微調整ツマミ

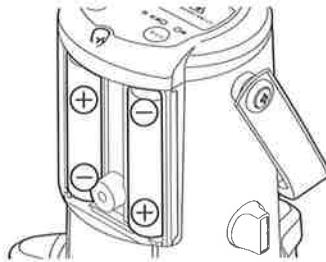
#### 脚整準ネジ

#### 円型気泡管

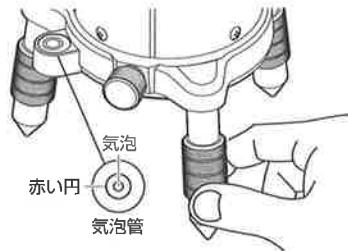
## 使用方法

※受光器の使用方法についてはタジマレーザーレシーバーの取扱説明書をお読みください。

- 1 お使いになる前に、電池ボック  
スに単3形乾電池を2本正しく  
入れてください。



- 2 本機を水平にします。円型気泡  
管が赤い円の中心に来るよう  
に脚整準ネジを回して調整し  
ます。

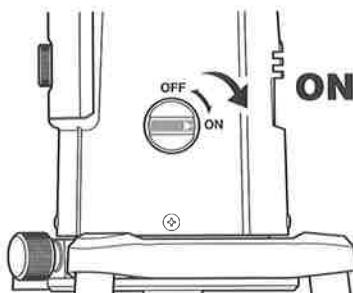


本体が±2°以上傾いている場合は、  
補正範囲外のためレーザーは自動的に  
消灯します。

- 3 スイッチをONにしてください。同時にロックが解除されレーザー光が  
出ます。

### △警告

- 光学器具で直接レーザー光を見ないでください。
- レーザー光を直接のぞかないでください。
- レーザー光を他の人に向けないでください。  
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

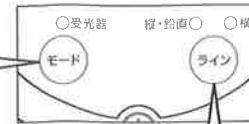


! 強制  
電池残量が少ない場合は、レーザー  
光が点滅します。この場合、電池の  
寿命ですのでアルカリ乾電池2本を  
同時に交換してください。

- 4 出射ラインの切替えができます。

### 受光器モード切替スイッチ

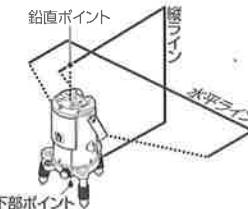
受光器を使用する際にスイッチ  
を押してください。  
※受光器モードではレーザー  
ラインが薄くなります。



出射ライン 切替スイッチ ※下図の切替えが可能です。

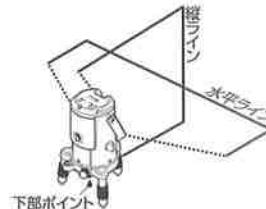
#### 〈GT2eXi〉

- 緑 <緑点灯>  
縦ライン・鉛直ポイント
- 赤 <赤点灯>  
水平ライン
- 緑 <両点灯>  
縦ライン・鉛直ポイント  
+水平ライン



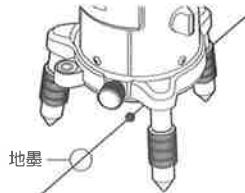
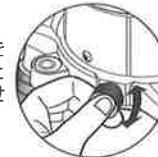
#### 〈GT2bXi〉

- 緑 <緑点灯>  
縦ライン・下部ポイント
- 赤 <赤点灯>  
水平ライン
- 緑 <両点灯>  
縦ライン・下部ポイント  
+水平ライン

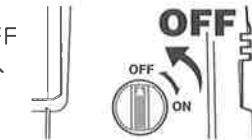


- 5 縦ラインを使用する場合、下部ポイントを地墨に合わせるように本機を設  
置してください。本体を回転させ、地墨に縦ラインを合わせます。

回転微調整機能を  
お使いいただくと  
より簡単に合わせ  
られます。



- 6 使用後は必ずスイッチをOFF  
になっていることを確かめ、  
ケースに戻してください。



## 精度の確認

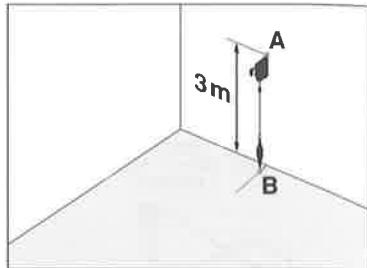
※本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。使用前

使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

### 1. 縦ライン精度の確認

#### ⚠ 警告

- 光学器具で直接レーザー光を見ないでください。
  - レーザー光を直接のぞかないでください。
  - レーザー光を他の人に向けないでください。
- レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。



- 1) 風の影響の少ない既設の建造物の壁を選び、高さ3mのポイントをマーキングします。ここをポイントAとします。
- 2) ポイントAから下げ振りを吊した床面のポイントをマーキングします。これをポイントBとします。

3) この壁面のポイントBより、5m離れた位置に本機を設置します。

4) 本機の円型気泡管の気泡が赤い円の中心に来るよう脚整準ネジを回して調整します。

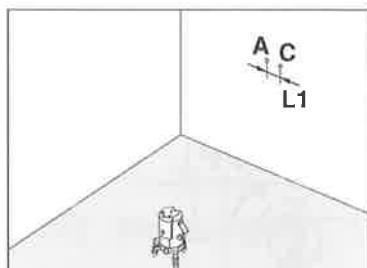
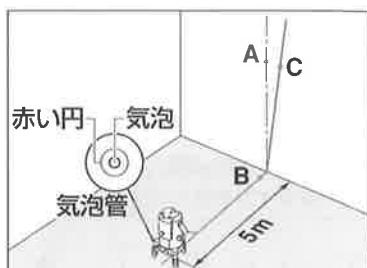
5) 電源スイッチをONにして、縦ラインを出射します。

6) レーザーラインをポイントBに合わせます。

7) そのままの状態で、ポイントAの位置のレーザーラインをマーキングします。ここをポイントCとします。

8) ポイントAとポイントCの差L1が許容範囲以内であれば正常です。

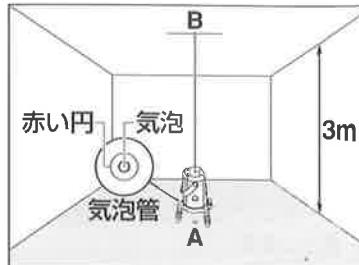
※この精度の確認方法の場合、当社の精度保証規格は、1.5mm以内です。



### 2. 鉛直ポイント精度の確認 ※GT2eXiのみ

#### ⚠ 警告

- 光学器具で直接レーザー光を見ないでください。
  - レーザー光を直接のぞかないでください。
  - レーザー光を他の人に向けないでください。
- レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。



1) 本機を天井高さ3mの部屋に設置します。

2) 本機の円型気泡管の気泡が赤い円の中心に来るよう脚整準ネジを回して調整します。

3) 電源スイッチをONにして、縦ラインを出射します。

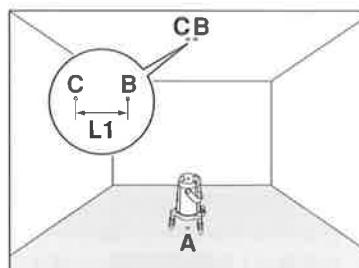
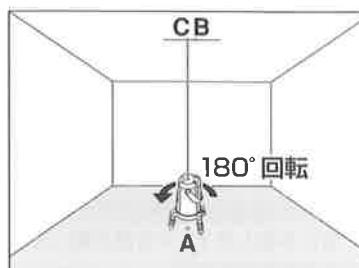
4) 下部ポイントと鉛直ポイントをマーキングします。ここをそれぞれポイントA ポイントBとします。

5) 本機がずれないようにゆっくりと180度回転させ、下部ポイントをポイントAに合わせます。

6) このときの鉛直ポイントをマーキングします。ここをポイントCとします。

7) ポイントBとポイントCの差L1が許容範囲以内であれば正常です。

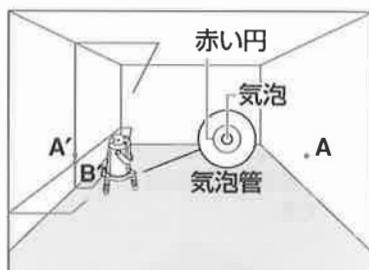
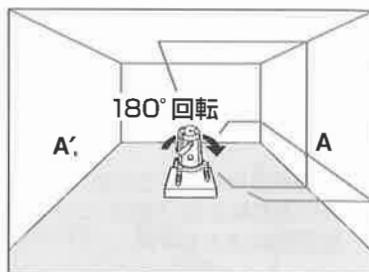
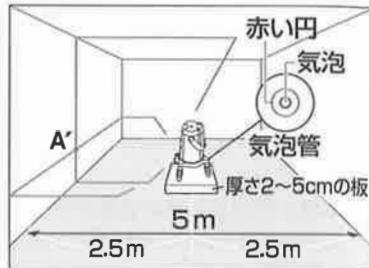
※この精度の確認方法の場合、当社の精度保証規格は、1.5mm以内です。



※本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。使用前

使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

### 3. 水平ライン精度の確認



- 1) 5m離れた壁(又は柱)の中央に、厚み2~5cmぐらいの板を置いて、その上に本機を設置します。
- 2) 本機の円型気泡管の気泡が赤い円の中心に来るよう脚整準ネジを回して調整します。
- 3) 電源スイッチをONにして、レーザーラインを出射します。
- 4) 一方の壁面に出射した水平ラインの中心(縦ラインとの交差点)をマーキングします。ここをポイントA'とします。
- 5) 本機を180°反転して、もう一方の壁面に出射した水平ラインの中心(縦ラインとの交差点)をマーキングします。ここをポイントAとします。
- 6) 電源スイッチを一旦OFFにします。
- 7) 本機をポイントA'側の壁ぎわの位置に移動します。※本機の載っている板を取り除きます。
- 8) 本機の円型気泡管の気泡が赤い円の中心に来るよう脚整準ネジを回して調整します。
- 9) 電源スイッチをONにして、レーザーラインを出射します。
- 10) 壁面にラインを出射し、縦ラインをポイントA'にあわせます。そのときに水平ラインの中心(縦ラインとの交差点)をポイントB'とします。

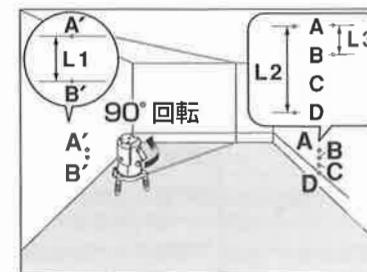
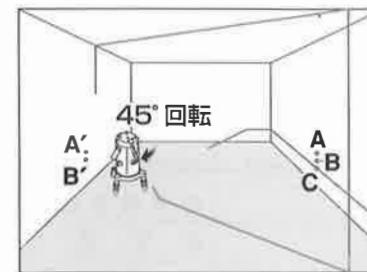
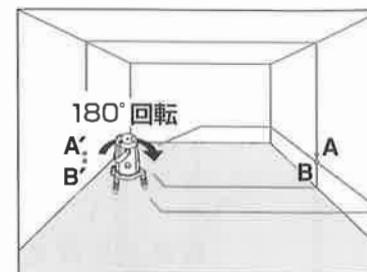
#### 警告

■光学器具で直接レーザー光を見ないでください。

■レーザー光を直接のぞかないでください。

■レーザー光を他の人に向けないでください。

レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。



- 11) 本機を180°反転して、もう一方の壁面にラインを出射し、縦ラインをポイントAにあわせます。

出射した水平ラインの中心(縦ラインとの交差点)をマーキングします。これをポイントBとします。

- 12) 本機を右方向に約45°回転させ、ポイントBの位置の水平ラインをマーキングします。これをポイントCとします。

- 13) 本機を左方向に約90°回転させ、ポイントBの位置の水平ラインをマーキングします。これをポイントDとします。

- 14) ポイントA'からポイントB'までの距離L1と、ポイントAからポイントB、ポイントC、ポイントDの最大距離L2と最小距離L3を測定します。

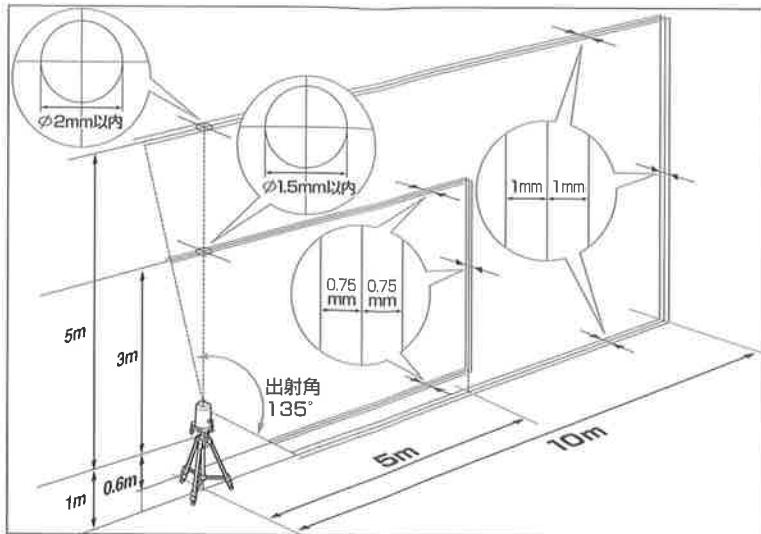
- 15) L1とL2の差とL1とL3の差がそれぞれ許容範囲以内であれば正常です。

※この精度の確認方法の場合、当社の精度保証規格は、±0.5mm以内です。

## 精度の考え方

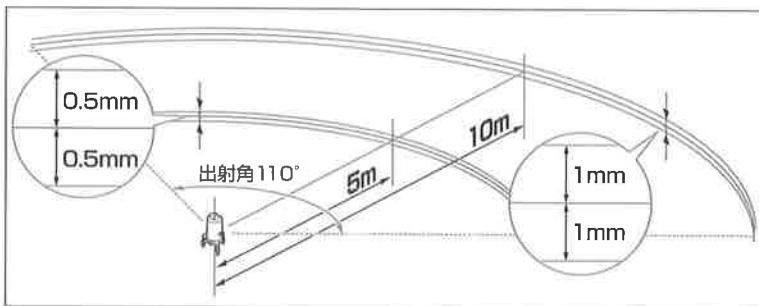
### 縦ライン10m精度

レーザーのラインが下部ポイントを基準として、正面10m・天井5m・床面1mの範囲で±1mm以内に入る。(正面5m・天井3m・床面0.6mの範囲で±0.75mm以内に入る。)



### 水平ライン10m精度

レーザーのラインが下部ポイントを中心とした半径10mの範囲で±1mm以内に入る。(半径5mの範囲で±0.5mm以内に入る。)



## 仕様

品 名	レーザー墨出し器 GT2eXi	レーザー墨出し器 GT2bXi
品 番	JL-GT2EXI	JL-GT2BXI
出 射 光 光 源	可視光半導体レーザー	
波 長	ライン 635nm/ポイント 650nm	
レーザー安全基準	クラス1M (JIS C 6802:2005)	
光 出 力	1mW以下	
パ ル ス 幅	75μSec (受光器ON時)	
縦 ライン 精 度	10mで±1mm以内 (5mで±0.75mm)	
水 平 ライン 精 度	10mで±1mm以内 (5mで±0.5mm)	
鉛 直 点 精 度	5mで±1mm以内 (3mで±0.75mm)	—
ラ イ ン 幅	10mで約3mm	
自 動 補 正 範 囲	±2°	
制 動 方 式	マグネットダンパー方式	
防 塵 ・ 防 水 性 能	保護等級IP54 (防じん形・防まつ形※)	
使 用 温 度 範 囲	-5°C~40°C	
電 源	単3形アルカリ乾電池 2本	
連 続 使 用 時 間 (フルライン使用時)	受光器ON時 約13時間 受光器OFF時 約8時間	受光器ON時 約16時間 受光器OFF時 約10時間
電 池 寿 命 警 告	レーザー光点滅	
外 形 尺 法	高さ204mm×幅121mm	
重 量	本体 約1,000g(電池含む) キャリングケース収納時 約2,250g	本体 約990g(電池含む) キャリングケース収納時 約2,240g
縦 ライン 出 射 角	135°	
水 平 ライン 出 射 角	110°	
微 調 整 範 囲	10m先で±320mm	
使 用 可 能 な 受 光 器	LA-RCV, BL-RCV, SL-RCV, TL-RCV	

※防塵性規格 5級：機器の所定動作および安全性を阻害する量の塵埃は入らない。

防水性規格 4級：水の飛まつ(あらゆる方向からの噴霧)に対して保護する。

●改良のため予告なく、仕様・外観を変更する場合があります。

## よくあるご質問

よくあるご質問	確認項目
操作方法がわからない場合は?	レーザー相談デスク(0120-933297)にお問い合わせください。
屋外で使いたい場合は?	別売のタジマレーザーレシーバーをご使用ください。屋外使用などレーザーラインが見えにくい場所でレーザー光を感じし、音とランプでラインの位置をお知らせします。受光器モードでラインを出射して、ご使用ください。
地面が傾いている場合でも使用できるの?	自動補正機能がついておりますので使用可能です。補正範囲外の場合は脚整準ネジで調整してください。
レーザー光は「人体」への影響はないの?	レーザー安全基準のクラス1Mに準拠しています。通常の使用方法でご使用の場合、「人体」への影響はありません。ただし、望遠鏡やルーペ等の光学器具を用いた場合は、危険ですのでレーザー光を直接見ないでください。また、人に向けての出射はしないでください。
盗難補償はどうやって加入するの?	販売店様でご購入の際、レーザー墨出し器についている盗難補償申込み書に必要事項をご記入頂き、保証書をお受け取りください。保証書をお受け取りになった時点で保証が有効となります。

## 保証

- 同封しております「無償修理・盗難・火災補償制度保証書」記載の保証規定をよくお読みください。
- 運送用ケースに付随する包装材は、修理の際に製品の保護のために必要となりますので、大切に保管してください。

## 故障かなと思ったら

トラブルの状況	確認項目
ラインが出ない	電池の消耗・電池の入れ方・本体は十分に水平か(自動補正範囲内か否か)を確認してください。
ラインが暗い	カバーガラスは汚れていないか確認してください。
レーザーラインが点滅する	新しい電池に入れ替えてください。
レーザーレシーバーが反応しない	レシーバーの電池の消耗・電池の入れ方を確認してください。 受光器モードになっているか確認してください。

上記の方法で、解決できない場合は故障です。「故障した時は」をご覧ください。

## 故障した時は

修理をご依頼される前に、上記の「故障かなと思ったら」を見て故障かどうかを確認してください。

- 1) 「保証書」の有無をご確認ください。  
購入時にご記入、保管いただきました「無償修理・盗難・火災補償制度保証書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。
- 2) 本機と「保証書」をキャリングケース及び運送用外箱に入れ、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、タジマQ便サービスをご利用ください。

メモ